

第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～令和3年度末実績報告について～

I 第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

南陽市は、北部に丘陵、南部に沃野が広がり、米・野菜・果樹（ぶどう、さくらんぼ、ラ・フランス等）などの栽培にも適した風光明媚な自然環境に囲まれています。また、開湯920年余の伝統ある赤湯温泉、1,200年以上の歴史を誇り、あらゆる命を生み出し育む「むすひ」の神様をお祀りする熊野大社、郷土の民話を伝える「夕鶴の里資料館・語り部の館」、第15代日本銀行総裁等を歴任した結城豊太郎先生の遺品や文化財等を展示する「結城豊太郎記念館」や国指定史跡「稻荷森古墳」、全国一の文化と技を誇る「南陽の菊まつり」等の歴史と文化に彩られ、観光資源にも恵まれたまちです。さらに、全国初の大型木造耐火の文化ホール「南陽市文化会館」が開館したことで、新たな交流人口も見られます。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行は、人や社会のありかたに大きな変革をもたらしており、今後は「新たな日常（ニューノーマル）」を意識した施策が必要であるとともに、感染症を契機として高まっている地方への関心を地方創生に繋げるため、人や仕事を惹きつける魅力的な地域づくりの実現が強く求められています。

II 基本目標

第2期南陽市総合戦略では、人口ビジョンによる人口の将来展望の実現を目指すとともに、前述の南陽市の現状や特徴を踏まえ、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が定める目標を十分に勘案し、以下の4つの基本目標を定めます。

- | |
|-------------------------------------|
| 基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする |
| 基本目標2：南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる |
| 基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
| 基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる |

なお、施策の実施にあたっては周辺地域と連携を図り、これまで以上に自主的・主体的に地方創生に取り組みます。また、Society5.0やSDGsなどの新しい概念を積極的に取り入れ、多様な人材の育成と活用を図りながら、「新たな日常（ニューノーマル）」の構築を進めます。

基本目標 1

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

数値目標	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
製造業の従業者数 (従業者4人以上の事業所)	3,241人 (H30)	3,161人 (R1)	3,241人 (R3~R7平均)
新規就農者数	31人 (H27~R1累計)	11人 (R3)	30人 (R3~R7累計)
従業者一人あたりの製造品出荷額等	1,705万円 (H30)	1,812万円 (R1)	1,800万円 (R3~R7平均)
農業総生産額	5,330百万円 (H29)	5,045百万円 (H30)	5,600百万円 (R3~R7平均)

[総評]

新規就農者については、ワイナリー等への雇用就農が大きく増えて9名(自営就農は2名)となったことで数値が伸びました。その他の項目については、雇用統計等の各種統計資料によるものであり、数年遅れての実績となっております。

【施策① 企業活動、企業立地への支援】

産業の活性化を推進し、就業者の定住を促進します。新たな企業・産業の振興のため、産業団地の整備や企業の移転を推進します。

[K P I]

指標	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
新産業団地の整備	0か所	0か所 (R3)	1か所
本社機能移転企業数	1社 (H26~R1累計)	0社 (R3)	1社 (R3~R7累計)

[具体的事業]

- ・ 企業立地促進事業
- ・ 企業交流振興事業
- ・ 本社機能移転奨励金事業
- ・ 産業団地整備事業
- ・ 新規就農者研修支援事業

[総評]

新産業団地については、候補地の検討を行っております。本社移転企業数については、具体的な進展はありませんでした。

【施策② 就業の機会や人材育成への支援】

地域産業を支える人材を掘り起こし、地元企業等への就職につなげるため、若者・女性等の新規就業、Uターン就業等の機会の提供を推進します。また、専門的な人材の確保と育成により、地元産業の振興や人材の定着を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
インターンシップ体験者の就職者数	30人 (H28～R1 累計)	0人 (R3)	35人 (R3～R7 累計)
市主催の就職面接会による就職者数	12人	5人 (R3)	50人 (R3～R7 累計)

[具体的事業]

- ・奨学金返還支援事業
- ・インターンシップ促進事業
- ・人材確保定着支援促進事業

[総評]

新型コロナウイルス感染症の影響により、県を跨いでの移動が制限されたことでインターンシップ助成金の実績がなく、その就職者数についても0人となりました。また、就職面接会についても、コロナ禍のため参加者が少数となり、就職者数も基準値を下回る結果となりました。

【施策③ 起業の機会の創出、支援】

地域資源・産業を活かした起業を促進するとともに、先端技術の活用や専門人材の確保・育成により、新たな産業の振興を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
市支援の新規創業者数	0件	5件 (R3)	15件 (R3～R7累計)

[具体的事業]

- ・創業者支援事業

[総評]

新たな雇用や産業の創出のため、市商工会と協力して約 195 万円を新規創業者に支給しております。

【施策④ 販路拡大や6次産業化等による農林業の活性化】

南陽の「んまい（方言：おいしい）」もの、地産地消の推進を図るとともに新たな発想による地元農産品の販路拡大や6次産業化等により消費拡大を図り、農林業の活性化を推進します。

また、従来 of 森林整備及び保全に加え森林経営管理制度を活用し、林業の活性化を推進します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
新規ぶどう生産者数	17人 (H28～H30 累計)	5人(R3)	5人 (R3～R7 累計)
間伐材搬出量	1,015 m ³	372 m ³ (R3)	1,100 m ³ (R3～R7 平均)
イノシシの捕獲頭数	328頭 (H28～R2累計)	191頭(R3)	750頭 (R3～R7累計)

[具体的事業]

- ・新規就農者支援事業
- ・耕作放棄地等再生支援事業
- ・森林整備地域活動支援事業
- ・獣害対策事業
- ・林道施設整備等事業
- ・地域おこし協力隊（獣害対策事業）

[総評]

新規ぶどう生産者数については、ワイナリーへの雇用就農が伸びたことにより、初年度で目標を達成しました。間伐材搬出量は、事業者の人手不足等により基準値を下回り、イノシシについては、猟友会と連携した取組や電気柵の設置の推進等により、捕獲頭数が増加し、農作物の被害防止に繋がりました。

基本目標2

南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる

数値目標	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
南陽市公式LINE 登録者数	1,830 人	9,438 人	10,000 人
年間観光客数	96 万 3 千人	66 万 8 千人	100 万人

[総評]

行政や観光、ワクチン等の積極的な情報発信により、南陽市公式LINE登録者数は大きく伸びました。年間観光客数はコロナ禍で大きく落ち込んでいるものの、令和2年度の数値（41万4千人）と比べると、回復傾向にあります。

【施策① 観光向けイベント・ツアーの展開】

広域的な取組を行い、民間と連携して地域の良好な資源を活用した魅力的なイベント・ツアーを開催し、四季を通じた観光客の誘致を図ります。

多彩な農業や美しい森の資源を活用して体験型交流活動を展開し、1次産業の活性化と環境の保全を図ります。

[K P I]

DMO 関係の指標については、南陽市・長井市・白鷹町・飯豊町・小国町の合計値。

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
桜・バラ・菊のイベント等参加者	207,328人	94,798人(R3)	220,000人
森林づくり参加者	3,157人	2,094人(R3)	3,100人 (R3~R7平均)
DMO の旅行業等による売上額	26,291千円	23,364千円(R3)	107,353千円
DMO の旅行商品催行数	161件	512件(R3)	441件
DMO の取扱いによって宿泊を伴う旅行をした人数	239人	54人(R3)	579人
DMO 会員数	52件	69件(R3)	189件

[具体的事業]

- ・桜、バラ、菊祭り等の開催（支援）事業
- ・企業の森づくり事業
- ・地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業

[総評]

桜・バラ・菊のイベント等参加者数及び森林づくり参加者数については、コロナ禍による移動制限やイベント回数の抑制のため、基準値を下回りました。DMOについては、2市3町（南陽市、長井市、白鷹町、飯豊町、小国町）の取組であり、コロナ禍ではあるものの一部の数値に回復の兆しが見え始めております。

【施策② 南陽市の魅力発信による観光推進】

戦略的な誘客プロモーションを展開して、広域的な連携を行い、国内のみならず、外国人観光客の誘致を推進し、観光客の増加を図ります。

高齢者、障がい者にも配慮した、「おもてなし」観光を推進し、「おしょうしな（方言：ありがとう）」の声あふれるまちづくりを行います。

[K P I]

車イス補助具利用人数は、熊野大社、赤湯温泉観光センター設置の車イス補助具の利用人数。

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
外国人宿泊客数	1,172人	0人 (R3)	1,200人
車イス補助具利用人数	57人	61人 (R3)	100人

[具体的事業]

- ・外国人観光誘客事業
- ・南陽市の魅力発信による観光振興事業
- ・障がい者観光促進事業

[総評]

外国人宿泊者数は、外国人の渡航制限中であったため実績は0人となりました。車イス補助具については、熊野大社及び赤湯温泉観光センターに設置している。利用人数は増加しており、傾向としては、一度利用した方が再度利用しているケースが多くみられます。

【施策③ 移住・定住や関係人口の創出】

移住・定住や関係人口の創出に向けた交流の機会を創出し、多様な世代が暮らしやすいまちづくりを推進します。

また、地域おこし協力隊を採用し、地域の活力を高めるとともに、様々な情報手段の活用やふるさと納税の推進により、市内外に向けて地域の魅力を発信します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
Uターン定住世帯（子育て世代定住促進交付金による）	2 件	1 件 (R3)	4 件
ふるさと納税申込数	30,016 件	34,200 件 (R3)	36,000 件
県外からの新規移住者世帯数 （山形県移住世帯向け食の支援事業の実績による）	6 世帯	12 世帯 (R3)	9 世帯 (R3～R7 平均)
移住相談窓口（市）への年間相談件数	42件	62 件 (R3)	50 件 (R3～R7 平均)
地域おこし協力隊の定住数	2 人 (H27～R1 累計)	1 人 (R3)	5 人 (R3～R7 累計)
地域おこし協力隊の新規採用 隊員数	3 人 (H27～R1 累計)	3 人 (R3)	10 人 (R3～R7 累計)
おためし地域おこし協力隊の 参加人数	0 人	1 人 (R3)	15 人 (R3～R7 累計)

[具体的事業]

- ・子育て世代定住促進交付金事業
- ・ふるさと納税事業
- ・移住定住推進事業
- ・地域おこし協力隊事業
- ・おためし地域おこし協力隊事業
- ・故郷未来プロジェクト事業

[総評]

各種移住定住施策の取組をはじめ、東京での移住関係イベントに参加したことなどにより、移住関連の数値は概ね順調に推移しました。ふるさと納税についても、返礼品の充実等により基準値を上回っております。

【施策④ 人材育成と交流の推進】

中高生や若者の地域活動の支援等を通じて、地域づくりの中心となる人材を育成します。

また、人が集まり、交流できる場所を整備することで、世代を超えた人々が繋がり、地域が活性化するきっかけをつくります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
事業を通じて実施した地域活動の取組数	0回	9回 (R3)	25回 (R3~R7累計)
温泉利用型健康増進施設の利用者数	146,336人	0人 (R3)	159,106人
温泉利用型健康増進施設 (バリアフリー浴室) の利用者数	0人	0人 (R3)	1,035人

[具体的事業]

- ・魅力ある高校教育支援事業 (地域×高校魅力化みらいプロジェクト)
- ・温泉利用型健康増進施設整備事業

[総評]

事業を通じて実施した地域活動は、魅力ある高校教育支援事業の成果指標として、南陽高校と連携した取組数を計上しております。令和3年度は、南陽高校との探究の授業における連携や南陽高校市役所部の活動をはじめ、選挙啓発活動やワインラベルのデザイン、南陽青年団とのワークショップや放課後子ども教室での協働など、幅広い分野で多くの係わりを持ち、地域づくりの中心となる人材の育成を図りました。温泉利用型健康増進施設の利用者数及び温泉利用型健康増進施設 (バリアフリー浴室) の利用者数については、対象となる施設「赤湯温泉 湯こっと」の開業が令和4年度であるため、実績は来年度以降に計上されます。

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
合計特殊出生率	1.46	1.52 (R2)	1.65

[総評]

令和2年度において、全国 (R1:1.36→R2:1.33) 及び山形県 (R1:1.40→R2:1.37) の合計特殊出生率は下がっているものの、本市の数値は伸びており、県内13市では東根市 (1.72) と天童市 (1.53) に次いで3番目に高い値となりました。

【施策① 出会いの支援】

若い世代の人たちが南陽市で結婚し、定住するように、多様な出会いの機会や、男女が体験を共有できる縁結びの場を提供します。

また、若い世代の人たちが、様々な人との交流などに自信を持って取り組むことができるよう、自分磨きの場を提供します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
市主催のお見合い件数	26件	32件 (R3)	30件 (R3～R7 平均)
結婚新生活支援事業の補助件数	0件	10件 (R3)	5件 (R3～R7 平均)

[具体的事業]

- ・結婚推進事業
- ・結婚新生活支援事業

[総評]

コロナ禍によりお見合いイベントの開催が難しかったため、南陽市結婚アドバイザーによる個別相談等に注力したことで、件数の増加に繋がりました。結婚新生活支援事業についても、公共施設や窓口にチラシを設置しPRに努めたことで、目標とする値を上回る結果となりました。

【施策② 妊娠、出産への支援】

安心して妊娠、出産できるよう、妊産婦やその家族のサポートを強化するとともに、子を持つことへの希望を叶えるよう不妊治療費を助成します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
特定不妊治療助成者の数	20人	25人 (R3)	20人 (R3~R7平均)
3人っ子妊娠確定前診療者数	39人	31人 (R3)	50人

[具体的事業]

- ・ 特定不妊治療費助成事業
- ・ 妊婦健康診査事業
- ・ 3人っ子妊娠確定前診療費助成事業
- ・ すこやか赤ちゃんギフト事業

[総評]

コロナ禍により出生数が一段と下がったため (R1:204人 R2:185人 R3:175人)、3人っ子妊娠確定前診療者数も総数は基準値を下回る結果となりました。特定不妊治療助成制度 (県・市協調事業) は年度によりばらつきが大きい項目であるものの、今年度は基準値を上回る結果となりました。

【施策③ 安心して子育てできる環境の充実】

社会全体で子育てを応援するため、働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するとともに、子育てに係る経済的支援を実施します。

また、子どもの居場所づくりや、高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生を育成し、地域ぐるみで子育てをサポートします。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
第3子以降出生数	32人	31人 (R3)	32人
地域子育て支援拠点施設の利用者数	3,383人	2,759人 (R3)	3,500人

高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数	379人	443人(R3)	400人
-----------------------	------	----------	------

[具体的事業]

- ・南陽市子育て推進事業（保育料第3子無料事業、子育て支援医療費給付事業等）
- ・空き家を利用した子育て世代住宅取得支援事業
- ・放課後子ども総合プラン推進事業

[総評]

3人っ子妊娠確定前診療者数と同様に、コロナ禍により一段と出生数が下がったため、3人っ子の出生数も基準値より下がっております。地域子育て支援拠点施設については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、人数制限をかけて運営したことから基準値を割り込む結果となりました。高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数については、地域学校協働活動や放課後子ども教室で連携する地域の方々と南陽高校生が増えたことによるものです。

基本目標 4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

数値目標	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
住みやすいと感じる人の割合	68.3% (R1)	無し (※)	75.0% (R7)
これからも住み続けたい人の割合	69.8% (R1)	無し (※)	75.0% (R7)
将来住み続けたいと考える中学生の割合	56.8% (R1)	無し (※)	60.0% (R7)

※総合計画の策定又は改訂に合わせ、5年に1度大規模調査を実施している。次回は令和6年度を予定。

【施策① 雪に強い地域づくりの推進】

冬季間も安全で快適な市民生活や経済活動を確保するため、除雪体制・除雪支援体制を強化し、雪に強い地域をつくります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
除雪オペレーター担い手支援者数	0人	0人(R3)	5人 (R4~R7 平均)

[具体的事業]

- ・ 除雪オペレーター担い手確保支援事業
- ・ 除雪費支給事業

[総評]

除雪オペレーター担い手支援事業は令和4年度から実施の事業であるため、令和3年度実績はありません。目標値も令和4年度～令和7年度の平均値となっております。

【施策② 安全安心な地域づくりの推進】

地域防災体制の充実に向けて災害時における復旧・復興等の機能を強化するとともに、ゼロカーボンシティを目指した取組を進めます。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
自主防災組織率	98.2%	98.2% (R3)	100%
防災士の資格取得者数	4名	4名 (R3)	4名 (R3~R7平均)
LED防犯灯設置率	59.8%	83% (R3)	95%

[具体的事業]

- ・安全安心な地域づくり推進事業
- ・自主防災組織推進事業
- ・LED防犯灯整備補助事業
- ・SDGsチャレンジ事業
- ・居住誘導促進事業

[総評]

自主防災組織については、未組織の地区（2地区）に対して今後も働きかけを行っていく。防災士は年次計画どおり4名の取得を達成した。LED防犯灯設置率は着実に伸びており、ゼロカーボンに向けた取組としても重要な事業となっております。

【施策③ 地域の核となる施設の有効活用】

市民の健やかで文化的な生活の実現を図るため、地域の公共施設の利用促進や有効活用を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
公民館利用者数	99,922人	49,110人	114,000人
体育施設利用者数	141,839人	110,466人	142,000人
文化会館利用者数	132,185人	88,289人	133,000人

[総評]

公民館及び体育施設利用者数については、コロナ禍による利用制限等により基準値を割っているものの、令和2年度数値（公民館利用者:38,714人 体育施設利用者:92,893人）より伸びており、回復傾向にあります。文化会館利用者数についても、コロナ禍によるコンサート等の中止や規模縮小により落ち込んでいるが、令和4年度になって徐々にコンサート等が開催されており、数値は回復傾向にあります。

[具体的事業]

- ・コミュニティ助成事業
- ・体育施設等利用促進事業
- ・文化会館管理運営事業

【施策④ 空き家の利活用の推進】

きめ細やかな空き家・空き店舗の対応と適正管理、有効活用を目指し、空き家に係る問題解決に向けた協働を推進します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	直近年度実績	目標値 (R7)
空き家バンク登録家屋の売買等成約件数	3件	8件(R3)	5件(R3～R7平均)

[総評]

売買等成約件数は増加傾向にあります。空き家対策の有効な手立てとして、更なる普及や啓もうに努め、利用拡大を図ります。

[具体的事業]

- ・空き家に係る問題解決に向けた協働の推進事業
- ・空き家バンク事業